

## 布施田総務省移動通信課長がアクセスフォーラムで 「社会の安心・安全に寄与する MCA 無線技術」と基調講演

去る5月28日（水）・29日（木）の2日間、新宿NSビルで開催され、多くの自治体・企業の防災担当者様にご参加いただいた「災害対策・BCP アクセスフォーラム2014」。

特に2日目の基調講演『情報通信を活用した防災対策』（講師：総務省総合通信基盤局電波部移動通信課長 布施田英生氏）は、満場の聴講者で埋め尽くされ、立錐の余地もないほどの人気を博した。

基調講演の中で布施田総務省移動通信課長は、

- ・東日本大震災における通信の状況
- ・東日本大震災における住民への情報伝達
- ・東日本大震災を踏まえた情報通信の防災対策
- ・総務省の情報通信を活用した防災対策に係わる平成26年度予算及び平成25年度補正予算

など、防災対策には無線通信の利活用が重要であることを交えながら、幅広い内容をお話しされた。



さらに、「無線通信の中でも MCA 無線は、多くの自治体や医療機関等に普及が進んでおり、災害時のみならず平常時でも情報収集・伝達手段として社会の安心・安全に貢献している。MCA 無線の技術を活用し、BCP 対策、地域コミュニティの防災活動に役立て、社会の安心・安全に寄与していくことが重要である」と述べられた。

以下のサイトでは、基調講演を含めた各セミナーの配布資料がアップされております。どうぞ、ご覧ください。

<http://www.bcp.or.jp/study/download.html>